

# 帆布の魅力を多くの人々に伝えていきたい。

大戸 研

合糸・撚糸



学生服

オフィス・ワーキング

ジーンズ・カジュアル

染色・加工

織物



長年愛用していたストライプ柄の文房具ケースが倉敷帆布製であったことから入社を決めたという大戸さん。文房具ケースはマリンカラーやカフェラテなど色違いで集めるくらい倉敷帆布のファンだそうです。偶然、丸進工業の求人募集を見つけたことから「あの倉敷帆布を作る仕事に自分も携われるなら」と迷わず飛び込みました。今年の4月に入社し、現在は先輩について合糸、撚糸の工程を担当しています。「この工程は、綿織物を作る最初の工程で、数本の単糸を合わせ、撚り合わせ糸を作ります。また、糸と糸を繋ぐ作業の糸留めでは、生地になったときに表面がなめらかになるよう細心の注意を払っています。」丸進工業では、ストライプ柄の他に、洗い加工をしたものなど様々な風合いの帆布を製造しています。「帆布の優しい風合いや温かみのある手触りを多くの人に知ってもらい、日常使ってもらいたいです。まだ駆け出しですが、一日でも早く先輩方に追いつけるよう取り組んでいきたいです。」

## もっと生の声

### Q & A

- 思い出に残っている出来事は？  
入社したばかりの頃のことですが、ベテランの職人さんが、織機を自ら修理していたことに驚きました。シャトル織機は現在製造されていないため、新しく買い換えることはできません。また、メーカーによっても勝手が違うため、部品などの調整が難しいそうです。
- 今後挑戦してみたいことはありますか？  
自分で企画したストライプ柄の生地を使って、新しい製品をつくってみたいです。私自身、自社製品のファンで、ストライプ柄の帆布を見ると心が華やきます。一人でも多くの方に倉敷帆布の魅力を知ってもらい、ファンを増やしたいですね。
- 将来繊維業界に就く人へのメッセージをください。  
ものづくりには地味に感じる工程もあるかもしれませんが、全ての工程には意味があり、多くの職人さんの努力と技術が積み重なることで、ひとつの製品が出来上がります。好きなもの(こと)に関しては、無駄なことは何一つないんだと、常に興味を持ち続け、更には突き詰めていってほしいです。

